

ステータス:	終了	開始日:	2011/10/08
優先度:	通常	期日:	2011/10/17
担当者:		進捗 %:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:		作業時間の記録:	0.00時間
説明			
状況(2011.10.17)			
V6.02にて対処済み。			
(原因) 譜面モニタ上のマウスカーソルの位置はリアルタイムに検出し、そのエリアに応じてカーソル形状を変更している。 その処理に伴って、検出したエリアIDを記憶しておき、マウスクリックが起こった際にエリアIDを参考に処理分類を行っている。 しかし、マウスが譜面モニタのクライアント領域から外れた際、そのエリアIDをクリアしていなかったため メニュープルダウンでのフック状態から復帰した際に、直前のエリアIDに呼応する処理が発動されてしまった。			
(対処) マウスが譜面モニタから外れた際、エリアIDをクリアする処理を追加した。			
概要(2011.10.08)			
Museの不具合(?)だと思うのですが、 譜面モニタを開いた状態で、一度「ファイル(F)」などがあるところを開き、 「開く(O)」などを選択したり、閉じたりせずに譜面モニタをクリックすると、 勝手に小節などの縦の線が消えてしまいます。 同様のことを繰り返すと、また出てくるので、モニタの下部分をクリックしたようになるのです。			
動画を撮りました。			
関連するチケット:			
関連している Release # 150: Muse V6.01		終了	2011/07/10

ファイル

claw.mpeg	598.004 KB	2013/12/31	Redmine Admin
-----------	------------	------------	---------------